

「福祉サービス第三者評価」等を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	障害者支援施設白鷹陽光学園	受審(実施)年度 (※)	平成27 年度	施設番号	41-0057
-----	---------------	-----------------	------------	------	---------

※第三者評価または利用者調査実施の年度

項目	評価結果に基づく現状分析 (平成 27年度)	改善計画 (平成 27 年度末時点)	実施状況(予定を含む) (平成28年4月30日時点)
「利用者も施設の外に出て仕事をしたいという希望があります」について	過去の就労先としてスーパーマーケット、製造業、お菓子の販売会社などがあったが社会情勢や、ご利用者の加齢もあり現在1名のみとなっている。	① 外での就労を希望する利用者の方には、ハローワークを利用し、情報収集を図る。 ② 本人の意向を確認しながら、就労先の開拓に取り組む。	1 実施済み ②実施予定(平成28年 6月ごろ) 具体的には以下のとおりです。 利用者と一緒にハローワークに向く。
「中間管理職としてのスキルアップの育成が望まれます」について	施設では、職員の資質向上と質の高いサービス提供のため、施設及び個人年間研修計画に基づき研修を実施している。組織では中間管理職に対する期待は高く、リーダーとしてのスキルアップが望まれる。	① 継続した業務を行うだけでなく、積極的かつ自発的に仕事を行う気づきの力を養う。 ② 業務における課題や問題点を見つけ、解決策を提案できるようなスキルを身につける。 上記2点のための研修派遣を、検討している。	1 実施済み ② 実施予定(平成 28年 6月以降) 具体的には以下のとおりです。 山形県社会福祉研修センターや東京都社会福祉協議会で実施の研修等への派遣や職場内での研修を計画する。
「重度の利用者への余暇活動の充実を期待します」について	利用者の余暇活動は土日の活動として地域行事への参加、買い物の支援、ドライブ等を実施している。また年間計画に沿ってリハビリ等も実施している。	地域行事への参加や買い物などの外出が困難な重度の利用者の方には、グループホームの隣にある一戸建ての住宅「たんぼぼ」で、寮ごとの活動計画を練り、ティータイムや、雑誌、ビデオ鑑賞などを行い、施設と違った家庭的な雰囲気の中でゆったりした時間を過ごせるよう、今までよりも更に多くの機会を設定していく。また、日常の余暇の中で支援員と触れ合いを深め、心身のケアを図る。	1 実施済み ② 実施予定(平成28年 6月ごろ) 具体的には以下のとおりです。 ① 寮ごと、余暇活動の計画を今後も継続していく。 ② 「たんぼぼ」利用を随時計画に入れていく。 ③ リハビリなど心身のケアを継続していく。

※この様式は、「東京都民間社会福祉施設サービス推進費補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とうきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。